



碧の風

千葉市立川戸中学校
校報 第10号
令和5年1月13日

新しい年の訪れ

校長 板垣 章子

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

新春の陽を浴び、生徒たちの晴れやかな笑顔が学校にもどってきました。1月6日の冬休み明け初日は、氷点下の気温の中でスタートしました。健康への配慮から、体育館で予定していた全校集会を、急きょ教室でのオンライン集会に切り替えました。内容は、各学年の代表生徒による新年の抱負が主なもので、1年生、2年生、3年生の代表生徒が、それぞれの思いを堂々と述べてくれました。学年ごとに異なる立場や経験から発せられる新たな決意の言葉を、各教室で生徒たちは真剣な表情で聞いていました。私たち教職員も彼らの言葉を受け、今年一年の生徒たちの健やかな成長を願うとともに、支え、ともに歩んでいくことの責任を再認識し、身の引き締まる思いがしました。

同じ全校集会の中で校長からの話としては、今年の干支を題材にさせていただきました。今年は十二支が兎（う）であり、十干が癸（みずのと）である、十二支が12年で一巡し、十干が10年で一巡するのだから、12と10の最小公倍数60がそのまま干支の組み合わせの60通りになる、ということなどにも触れました。そして調べてみると、今年の干支である「みずのと・う」年は、努力してきたことが形になり勢いよく成長していくようなよい年である、ということも伝えました。新年の訪れとともに、生徒たちが少しでも前向きで明るく晴れ晴れとした気持ちをもって、何事にもあたってほしいと思っています。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、これから年度末までの時間はとても短く感じるほど忙しくなることが予想されます。まして、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの脅威から身を守りながら、学校生活を充実させていかなければなりません。特に3年生には「進路決定」本番という大きな山がそびえており、小中一貫教育校の最終章を悔いのないように終わらせてあげたいと思っています。

教職員一同、心を一つにして学校教育に精進してまいります。
今年もどうぞ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。